

9 年をとって生活したいと思う場所

・年をとって配偶者がいなくなり一人となった場合は、在宅で生活したい

年をとって「配偶者がいなくなり一人となった場合」にどのような場所で生活したいかについては「これまで住み続けた自分の家」や「子どもと同じ家」などの在宅での生活を望む者が80.9%となっている。

年齢階級別にみても、すべての年代で「住み続けた自分の家」の割合が大部分を占めている。

図13 年をとって生活したい場所（配偶者がいなくなり一人となった場合）

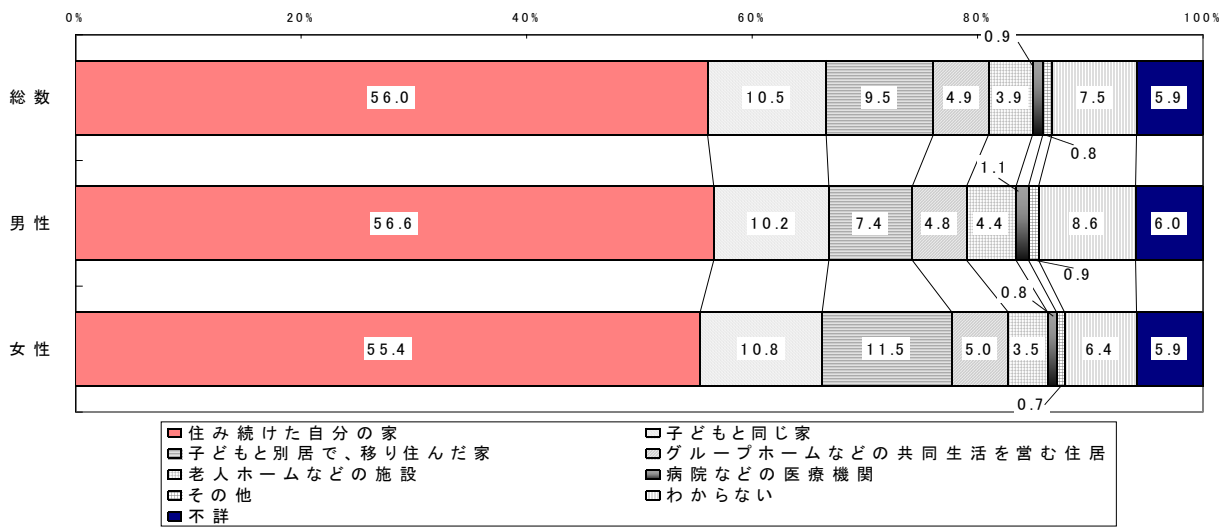
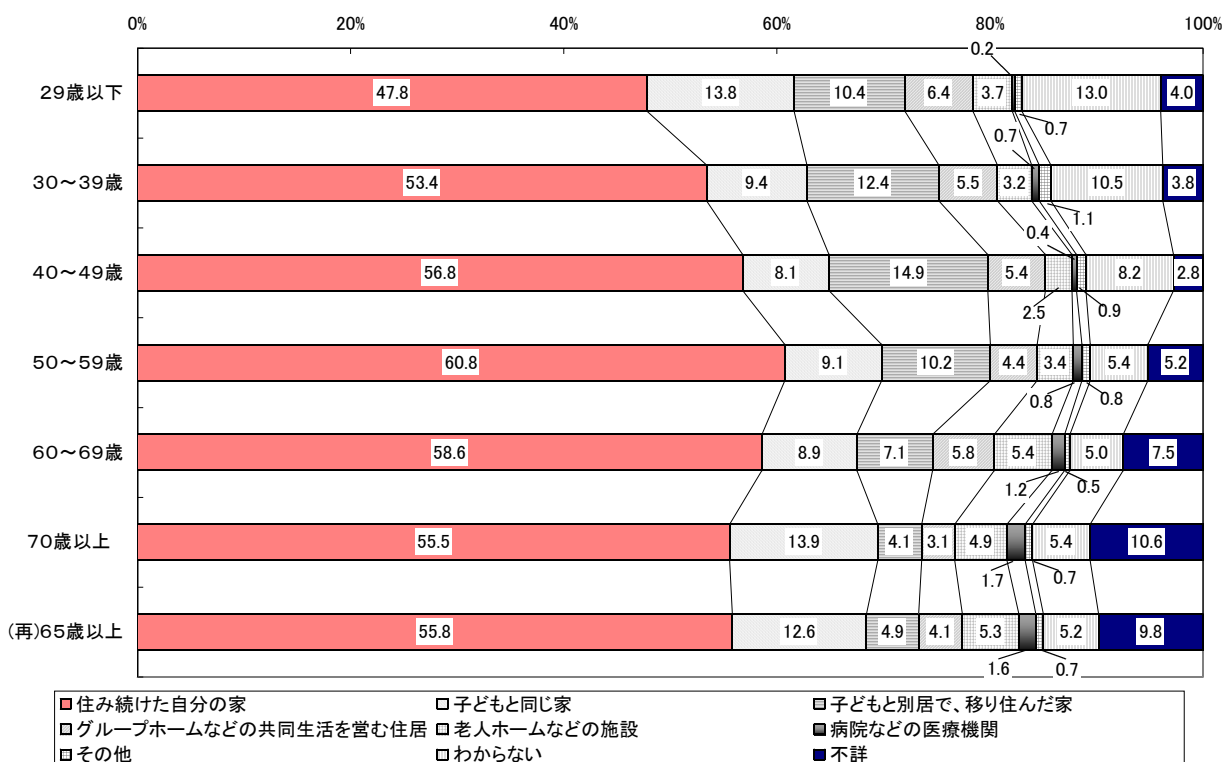


図14 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（配偶者がいなくなり一人となった場合）



・介護を必要とする場合は、在宅で生活したい

年をとって「介護を必要とする場合」にどのような場所で生活したいかについては、「これまで住み続けた自分の家」や「子どもと同じ家」などの在宅での生活を望む者の割合が37.9%、「老人ホームなどの施設」の割合が27.1%、「病院などの医療機関」が17.3%となっている。

年齢階級別にみると、70歳以上において、特に「これまで住み続けた自分の家」での生活を望む割合が多くなっている。

図15 年をとって生活したい場所（介護を必要とする場合）

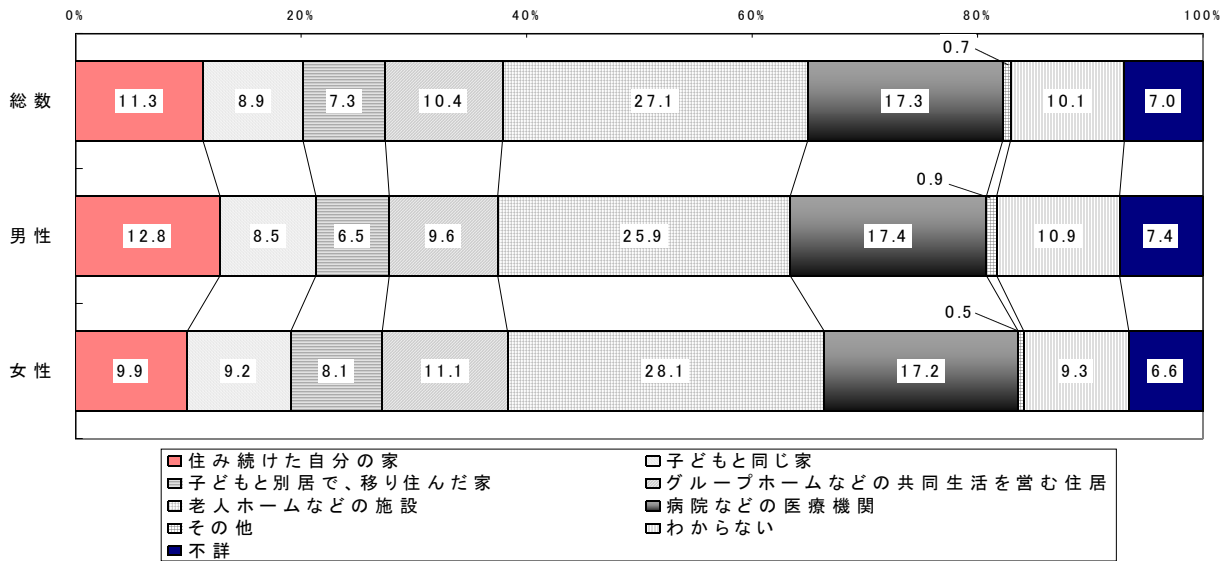
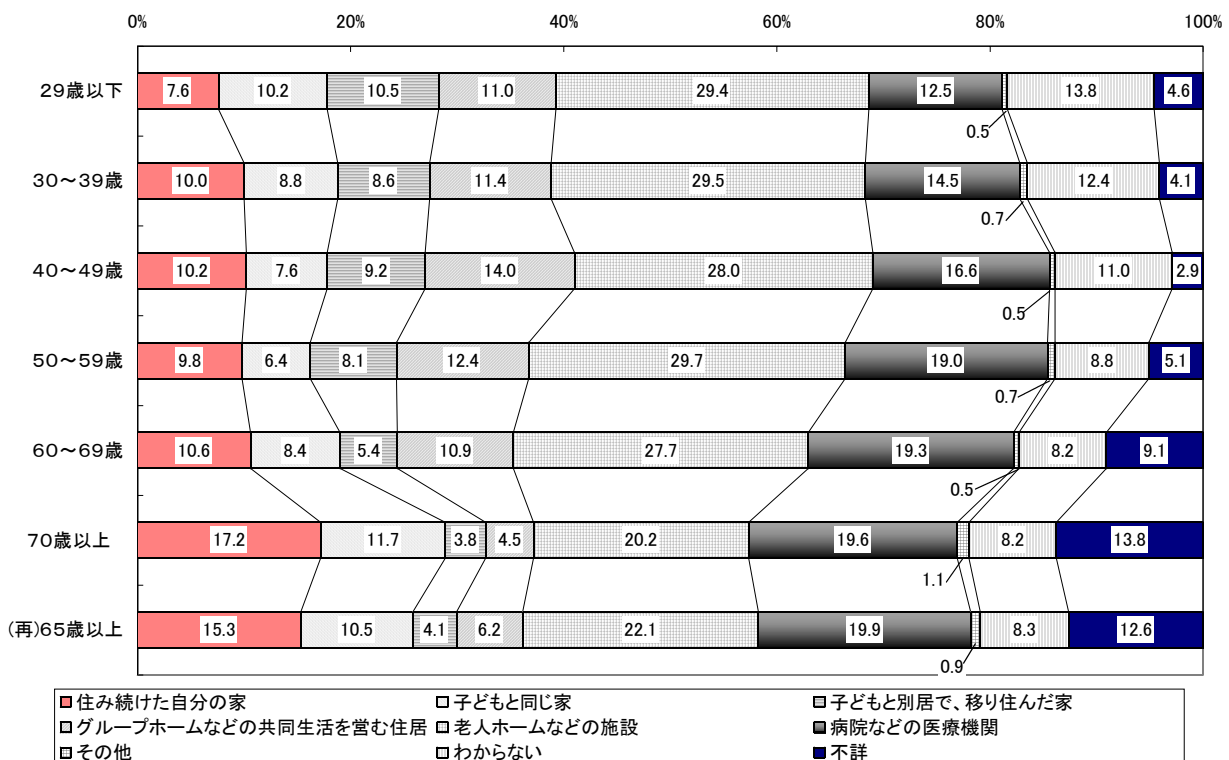


図16 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（介護を必要とする場合）



・人生の最後をむかえるときは、在宅で生活したい

年をとって、「人生の最後をむかえるとき」にどのような場所で生活したいかについては、「これまで住み続けた自分の家」や「子どもと同じ家」などの在宅を望む者が41.4%、「病院などの医療機関」が25.9%となっている。

年齢階級別にみると、特に70歳以上において「住み続けた自分の家」「子どもと同じ家」の割合が多くなっているのに対し「病院などの医療機関」の割合が少なくなっている。

図17 年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）

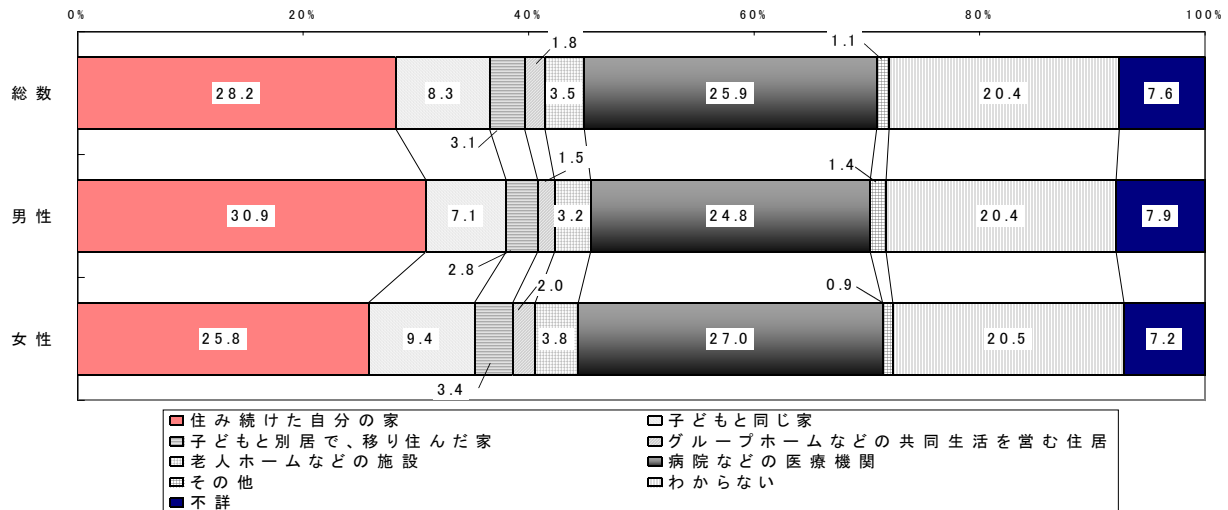


図18 年齢階級別にみた年をとって生活したい場所（人生の最後をむかえるとき）

